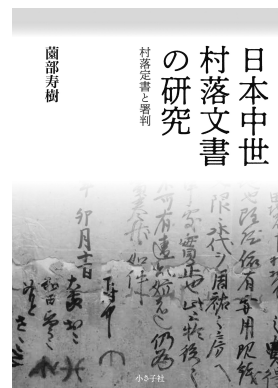


日本中世 村落文書の研究

2018年10月刊行

—村落定書と署判—



蘭部寿樹 (山形県立米沢女子短大副学長) 著

定価 9,936 円 (税込) A5判・上製本・346頁
ISBN978-4-909782-01-4

○中世の「村落定書」(村落集団の意思決定事項を記した文書や木札など)と、村落文書の「署判」に着目して、従来の古文学書・史料学の枠組みでは捉えきれない、中世村落文書が持つ豊かな世界の扉を開く。

○第一部では、中世から近世移行期までのすべての村落定書の文書様式と内容分類の分析を通し、両者の関係の変遷をあとづける。そこで見えてきたのは、口頭伝達社会の村人が文字による伝達に接触していく過程の痕跡であり、中世村落の動的な姿である。

○第二部では、村落文書の署判に着目する。署判の有無と「正文」「案文」の関係への疑問、署判からみえる村落集団と集団代表個人との興味深い関係性を示し、そこから中世村落民の意識の問題までを見通す。

●内容構成●

序 章

■第一部 村落文書の形成と村落定書■

- 第一章 村落文書の形成—荘園公領制との関連から—
- 第二章 村落定書の世界
- 第三章 村落定書の成立と変遷—文書様式の観点から—
- 第四章 村落定書の源流—注置状と置文—
- 付論一 明応七年丹波国山国荘黒田下村の紛失定書二通

■第二部 村落文書の署判■

- 第五章 村落定書の署判
- 第六章 村落文書の惣判・惣印
- 第七章 惣判・惣印の形成とその意義
- 第八章 丹波国山国荘における木印署判
- 付論二 山国荘井戸村江口家の木印

終 章

そのべとしき…1958年東京都生まれ。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科史学専攻単位取得退学。現在、山形県立米沢女子短期大学教授(副学長)。著書に『日本中世村落内身分の研究』(校倉書房、2002年)『村落内身分と村落神話』(校倉書房、2005年)『日本の村と宮座—歴史の変遷と地域性—』(高志書院、2010年)『中世村落と名主座の研究—村落内身分の地域分布—』(高志書院、2011年)。

ちいご
発行 **小さ子社**
(2018年6月設立)

〒606-8233 京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 FAX075-708-6839
<https://www.chiisago.jp> mail: info@chiisago.jp

■ご注文方法■

- ・小さ子社の書籍は、最寄りの書店・ネット書店で注文できます。
- ・小さ子社ホームページから、直接ご注文いただくこともできます。
- ・または、下記注文書を FAX いただくか、お電話でご注文下さい。
- ・直接ご注文の際は、下記①②のどちらかをご選択下さい。

本書の小さ子社 HP へのリンク



日本中世村落文書の研究

注文書

F A X 075-708-6839

お名前

注文冊数

冊

通信欄

お送り先

発送・お支払い方法 ※必ずどちらかをお選び下さい

(1) 前払いご入金確認後発送

送料 600 円。追ってこちらから振込先をお知らせします

(2) 代金引換郵便

ゆうパックでお送りします。配達時にお支払い下さい。
送料 900 円～1,500 円(地域によって差あり)+代引き手数料 260 円

お電話

メール